

安曇野市公民館報

安曇野市
中央公民館
No.17 2014. 2. 19
TEL62-4565

歩き始めに初詣!! 三郷で元日ウォーキング

三郷公民館(千國温館長)は、1月1日午後1時から「健康づくりの集い」として「元日ウォーキング」を開いた。「平成26年の歩き始めにウォーキングはいかが」との呼び掛けに35人余りが参加した。

初詣は健康祈願

今にも雪が舞いそうな雲行き冬の田園風景の中、公民館から住吉神社を往復する約4キロのコースを歩いた。途中、千國館長の案内で地域に残る史跡を見学し、説明



住吉神社に初詣

を聞いて故郷の歴史を学んだ。

折から吹き付ける寒風にも負けず、仲間と談笑しながら住吉神社の鳥居

をくぐった。初詣でにぎわう境内を巡り、思い思いの願いを込めて神殿に参拝した。



寒くても、楽しいウォーキング

健康は歩く脚力

一緒に参加した一日市場シニアクラブに所属する80代と60代の女性たちはクラブの中にウォーキンググループがあり、「クラブとしては月1回のペースで10キロほどの長距

萬人巻首

〔短歌〕

年新た我が手で作る新味噌は
山吹色にかがやき揃ふ

柏原 竹内 香代子

年ごとに漬物石の重たかり

今年が最後と語りながらも

住吉 児嶋 たかの

―俳句・短歌の作品をお寄せください―

私は一生懸命

三郷芸術文化協会会長として市の連絡協議会会長を兼ねる。三郷子ども学芸クラブ指導者会会長で、マリンバのジュニアアンサンブル「パンピーズ」と一般グループの「マミーズ」の演奏の指導活動が拠点である。

放課後子ども教室「三郷わいわいランド」のコーディネーターで子どもとの関わりが多い。元をたどればピアノ講師で、介護福祉士養成学校の音楽療法講師を務

めるなど多彩を極める。

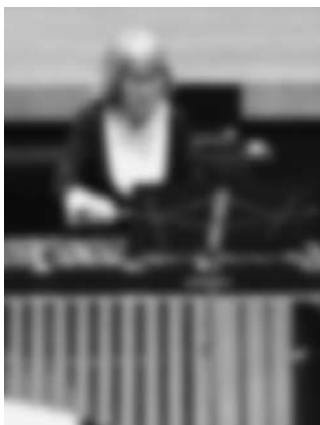
音楽指導にとどまらず、20年以上続けている音文ハーモニーマイトやサイトウキネンボランティアの活動にも熱が入り、近年は信州・まつもと大歌舞伎サポーターにも顔を出している。

「音楽教室より社会教育や生涯学習のお手伝いの方がのびのびできる。気ままに好きなことをやっている。変わり者だから」といわずらっぱい目が笑う。

安曇野市芸術文化協会連絡協議会会長
降旗幸子さん

離を歩くこともある」と言う。

公民館では、ワンバウンドふらばーるバレーボールなどのニユースポーツを取り入れ、健康長寿の仕掛けとして、スポーツを推奨していく。「これを機会に健康管理に気を付けてゆつくり無理せず歩いて欲しい」と言う。(山楽子)



地区公民館だより

明科地域 上押野地区公民館

上押野地区は、明科地域の西に位置し押野山を背に、前には高瀬川、北アルプスを背景に市内全域を見渡すことができ、雪が少なく過ごしやすい地区です。

世帯数は、220戸で微増傾向ですが、顔が見える範囲の規模であり、区民のつながりは強いものが感じられます。また、区内に4つの木戸があり、各木戸から1名の役員を選出し、公民館の活動を行っています。

特徴としては、高瀬川河川敷に当地区専用のグラウンド及びマレットゴルフ場を有し、高瀬川運動広場として各種スポーツ活動の拠点となっています。スポーツは活発で、ソフトボール部は、明科地域ソフトボールナイターリーグに2チームが参加するとともに、地域の各種大会では常に上位の成績を収めるなど、地区公民館活動の中心となっています。

事業としては、子ども会育成会と共催の子どもたちとのマレットゴルフ大会から敬老会の演芸発表会まで、老若男女を問わず区民の皆さんが気軽に参加できる事業を数多く実施しています。特に、毎年8月15日に開催している木戸対



敬老会の演芸発表会

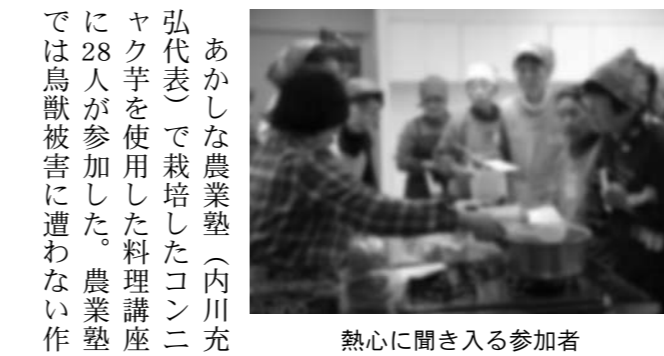
抗球技大会や夕方からの納涼祭には、里帰りの人や家族連れの皆さんなど多くの人たちが参加し、旧交を温める場として、また地区の絆を強める行事として定着しています。

平成25年度からは、新たに「上押野公民館だより」を季ごと(年4回)に発行しています。事業のお知らせや結果についての情報を中心で、区民が登場するようにと写真を数多く掲載しています。公民館活動に興味を持っていただき新たな参加者が増えるよう常に情報を提供することが大切であると考えています。

任期も折り返しとなりあと1年、活発な公民館活動となるよう取り組んでまいります。

(上押野地区公民館長 土肥三夫)

ヘルシーな こんにやく料理講座



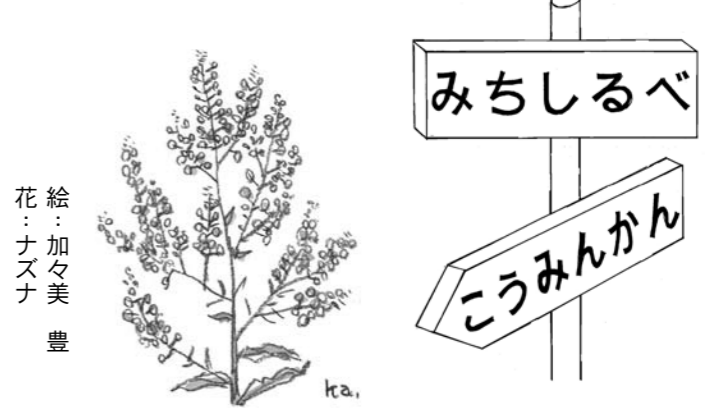
熱心に聞き入る参加者

あかしな農業塾(内川充弘代表)で栽培したこんにやく芋を使用した料理講座に28人が参加した。農業塾では鳥獣被害に遭わない作物として3年かけて収穫した。講師の望月亮子さん(七貴)の説明を聞きながら1時間の作業をし、型箱に入れられるようになる。更に20分煮詰めて出来る。

2回目には、松本広域調理師会会長の高橋清美さん(堀金)を講師に「ヘルシーなこんにやく料理フルコース」を実施。和食を改めて見直す機会となり、みんな腕を振るった。



型に入れて固める



絵:加々美豊
花:ナズナ

遊びながら楽しい工作

三郷公民館は「楽しい工作」教室として①子どもも大人も夢中! 模型飛行機作り、飛ばせ大空へ! 飛行機大作戦、②めっちゃかわいいクリスマスリース作り、手作りリースでサンタ獲得大作戦を開き20組40人の親子が参加した。



上手に飛ばすには



囲碁の部

第4回安曇野市囲碁・将棋大会開催

《囲碁の部》
A組 優勝 丸山 宏



この一手は

第4回安曇野市囲碁・将棋大会が11月24日、堀金公民館で開かれた。市内外の小学生からお年寄りまで、幅広い世代の約100人が盤上で腕を競った。大会ではプロ棋士の下島陽平さん(囲碁・八段)、竹部さゆりさん(将棋・女流三段)による指導対局や講座が行われ、参加者はプロの指導に熱心に耳を傾けていた。結果は次のとおり。



将棋の部

《囲碁の部》		《将棋の部》	
組	順位	組	順位
A級	優勝	A級	優勝
	三位		三位
B級	優勝	B級	優勝
	三位		三位
C級	優勝	C級	優勝
	三位		三位
D級	優勝	D級	優勝
	三位		三位

組	優勝	三位
A級	内川 新一	大須賀 欽一
B級	久保 修一	安井 邦夫
C級	須田 哲也	須坂 和夫
D級	唐澤 良英	清澤 貞雄
	牛越 忠衛	小林 卓馬
	高橋 輝	山田 拓

(敬称略)

発表会に向けて

明科高等学校演劇部は豊科公民館ホールで、2月9日に行われる「第四回安曇野市高校演劇合同発表会」に向けて3日間リハーサルを行いました。演題は「僕とゴミ箱(滝上雪、作)」で見どころは、ごみ箱の妖精のコミカルなキャラクターです。他の三校も発表に向けて練習に励んでいます。

練習を重ねる高校生たち



練習を重ねる高校生たち

穂高公民館改修工事進む

昨年10月から穂高公民館の改修工事が行われています。この工事は、同館の老朽化に伴い、平成25年度から26年度にかけて耐震補強を含めた大規模改修工事を行うものです。バリアフリーを考慮した造りとし、市民の皆さんが安心して利用できるよう配慮されています。

また、体育館棟は平成26年度の工事となります。



工事状況(講堂)

元旦マラソン 250人が走る

堀金地域は常念ドームを発着点に「元旦マラソン」を開催し市内外から250人余りが参加した。拾ヶ堰沿いを2キ、3キ、5キのコースに分かれ、それぞれのペースで元日の朝を走り抜けた。

元旦から元気よく



元旦から元気よく

みんなで繭玉づくり

堀金地域各地区公民館は1月11、12日にかけて、萬物作や繭玉づくり、三九郎の一連の行事を行った。大人の手が入り、昔を知る世代には物足りなさは残るが、下掘の、子どもだけの手作り三九郎や岩原の、青竹を組み立てた三九郎など特色のあるものも目についた。

上手に出来た!



上手に出来た!

古きを尋ねて

⑫南安曇農業高等学校第二農場

日輪舎 (文化庁・登録有形文化財)

堀金倉田地区に南安曇農業高等学校(南農)の第二農場がある。農場入口の正面に円すい形で青い屋根が見える。外壁は焦げ茶色の板張りで円筒形2階建て、直径13.5m、敷地面積1339平方mの威容を誇る。威風堂々とした外観だが60数年の歳月で老朽化が進み、学校創立90周年事業の一環として平成23年3月改修竣工した。

作業指導に当たる宮澤正生さん(農林技師63)は「改修前は窓も壊れ、キツネやタヌキなどが生息

していた気配もあった」という。南農第二農場は生徒が主力になり昭和8年から開墾に着手し、日輪舎は、後に生徒宿泊所として終戦直前の昭和20年5月に完成した。

昭和21年卒業の橋渡良知さん(元堀金村教育長85)は高校時代「土台の小石や砂利を自転車に積んで運び、生徒も建設に関わった」と言い、農業に光が当たるとを夢見て「昭和40年代は農業経営の先輩が自営者研究会を開いていた」と当時を振り返る。昭和41年卒業の猿田幸男さん(元堀金村収入役66)は「日輪舎は高校時代のコンパで使った程度で、2階の畳の上で先輩の説教を聞いた記憶がある」と話す。



日輪舎の原型は、国が「満蒙開拓青少年義勇軍」の事前訓練施設として開設した内原訓練所(茨城県水戸市)で、モングルの移動式住居を模している。内野祐志さん(南農事務長)は「登録文化財として保存と教宣の責任を感じる」と歴史の重みを語った。(山薬子)

グループレビュー紹介

藤原パッチワーク教室



豊科公民館で毎月2回、午後3時間集まり、パッチワークを楽しんでる。手を動かしながら、口も動かし、「口が動かなくなったら、何か困っている証拠。そしてたら教えに行くんです」とは、代表の藤原嘉津子さん。高校で家庭科教師をする傍ら立ち上げたグループで、もう15年以上になる。50〜80代の9人が会員で「おけいこの日を指折り数えて待ってるの」「共通の趣味の仲間がいちばん」と口をそろえる。パッチワークだけでなく、着物を使った洋服づくりや、編み物など、オールマイティに教えてもらえるのも、この教室ならではという。

具入れ、しつけ糸入れ(しつけ糸が出す時に絡まないような、お花に見える作品)などなど、ひと針ひと針心を込めた作品は、本当に気持ちがあたたかくなる。使う布は家にあるものを利用したり、安曇野木綿という会社が、年に2回一般向けに行う頒布会に行って、格安の端切れを買い求めたりする。作るものは特に決めていないそうだが、今回は、かわいらしい「がま口」を教え合って作っていた。「家にも布を出して眺めているだけで、時間を楽しく過ごすことが出来るのよ」「限りある時間は楽しく過ごさなくちゃ」と、笑顔いっぱい。手仕事の素晴らしさを改めて実感する活動だ。

樗

県の「いじめ防止基本方針」の策定に関わりながら感じるのは、子どもや学校は、地域が見守り育まなくてはということ。公民館が地域の要であり、市民の集う場であるように、学校応援団の団長であってほしい。子どもは未来の宝なのだから。(K・T)

穂高有明橋爪にある北野神社は、学問の神様「菅原道真」を祭った神社として知られています。受験・進学の際の季節、天神さまにお参りに行かれる方も多いのではないのでしょうか。皆さま、来年度もよろしくお願ひいたします。(N・N)

時を越えて、ルオーやシャガール、ピカソがカンバスを前にした景色に会った◆絵画に造詣は深くないが、ミューザに誘われて味わう20世紀の世界だ◆偉人が生きた時代の風に吹かれて同じ空間を垣間見た◆名をはせる前の誰にもある始まりの姿が見えればと。1969年のピカソに会った日。(T・Y)

景気を良くして賃金を上げる。ついでには消費税8パーセントにする。つづいて10パーセントを年内に決断するとテレビからの声。「丁寧に説明をする」と言われても理解ができない最近。こんな川柳があった。値段見て時給に換算くせついた。(Y・U)